

令和元年度秋田大学公開講座

秋田市のエネルギー政策から 資源問題を考える：豊岩浄水 場と国見山風力発電所を例に

地方自治体のエネルギー政策について、大規模災害時の水道機能の維持のために秋田市が全国に先駆けて導入した風力発電の浄水場のバックアップ電源化を事例に解説します。また、再生可能エネルギー利用に不可欠な資源についても解説し、資源確保の重要性と国際資源学部が取組について将来世代である中高校生にも理解を深めていただけるよう講義を行います。

《日 時》 7月24日(水) 9:00～16:00

《場 所》 秋田大学一般教育棟講義室および鉱業博物館
豊岩浄水場・国見山風力発電所

《対 象》 中高校生と保護者および一般

《講 師》 秋田大学国際資源学部 資源政策コース
教授 縄田 浩志
講師 稲垣 文昭

《定 員》 25名(要申込)

※ 定員に達し次第締切いたします。

《受講料》 1,500円

※ 受講料は事前振込となります。

※ 欠席による返金・割引等はありません。



	【第1回】講義	【第2回】視察	【第3回】講義・実習
時 間	9:00～10:30	11:00～13:00	14:30～16:00
場 所	秋田大学 一般教育棟 講義室	豊岩浄水場 蓄電施設 国見山第2風力発電所	秋田大学 附属鉱業博物館
講義題	『秋田市のローカルエネルギー政策から見る持続可能な資源管理のあり方』	『豊岩浄水場のバックアップ電源を見てみよう』	『再生可能エネルギーに必要な資源～鉱業博物館で素材を探そう～』

※ 昼食はお弁当を持参いただくか、大学内の学生食堂をご利用いただくことも可能です。(13:30～14:30 予定)

《申込締切日》

7月17日(水)



秋田大学

Akita University

お申込み・お問い合わせ

地方創生・研究推進課 TEL: 018-889-2270

秋田大学 HP: <http://www.akita-u.ac.jp>

